

座談会

「墨の華咲くまちで」

書道パフォーマンスの父が

書道界のトップランナーが

前回大会覇者が語る

書道パフォーマンス甲子園の魅力とこれから

前回大会優勝校顧問  
山根亮文さん  
鳥取城北高等学校教諭

書道界のトップランナー  
青柳美扇さん  
書道パフォーマンス甲子園  
アンバサダー

書道パフォーマンスの父  
服部一啓さん  
福岡教育大学学長補佐

## 私と書道パフォーマンス

**服部** 今でこそみなさんに知っていただいている三島高校書道部ですが、私が赴任した当時、部員は3人、活動は週に一回のみという状態でした。運動部のように注目を浴びるわけでもない、吹奏楽のように音楽を奏でるわけでもない。でも「同じ高校生が頑張っている姿を地域のみなさんに届けたい」と始めたのが、書のデモンストレーション、今で言う書道パフォーマンスでした。

### はっとりかずたか

書道家、福岡教育大学学長補佐、教授  
福岡県北九州市出身  
1996年に三島高校に赴任。書道部の顧問を務める。  
書道と音楽を融合した「書道パフォーマンス」を考案し、同部を率いて商店街などで披露。書を通じてまちづくりに貢献した。  
2010年には、この活動をモデルにした映画「書道ガールズ!!わたしたちの甲子園」が公開され、全国的に広く認知されることとなった。  
四国中央市のココが好き▷選べない



**青柳** 服部先生たちのおかげで、私が大学に進学した頃には書道パフォーマンスが少しくずつ認知されていきました。書道学科がある大学にもかかわらず、廃部寸前だった書道部を立て直すよう命じられた私は、外に向かつて活動することが書道部の未来につながるかと考え、書道パフォーマンスを始めました。集まった仲間たちと試行錯誤しながら作品を作り上げていたあの時間が、今でも一番キラキラしていたと思います。書道パフォーマンス、三島高校書道部があるから、今の私の活動があると思っています。本当に感謝しています。

**山根** 私が赴任した頃の鳥取城北高校は、書道部どころか書道の授業すらありませんでした。翌年に書道の授業が始まり、同時に書道部を立ち上げました。部員は4人。倉庫になっていた教室を片付けるところからのスタートでした。書道パフォーマンスを始めたのは、その翌年です。1年生部員の「学校祭で書道パフォーマンスをやりたい」という言葉がきっかけでした。紙をどこで調達すればいいのかわからない、そもそも私自身書道パフォーマンスをやったことがなければ、誰かに教えたことのない。でもそれにワクワクしました。「筆を買う」。ただそれだけで喜んでいましたね。紙もないのに(笑)。みんなで悩ん

### あおやぎびせん

書道家、アーティスト  
大阪府出身  
SNSの総フォロワー数が13万人を超える、書道界きってのインフルエンサー。JFAサッカー「天皇杯」オープニングアクトなど、国内外で書道パフォーマンス家を披露。今、最も活躍する書道家の1人。  
2022年書道パフォーマンス甲子園初代アンバサダーに就任。  
四国中央市のココが好き▷市長さん



### 革命!

でみんなまで走っていたあの時間、「本番なんて来なくていい」と思うぐらい毎日の練習が楽しくかった。

**山根** 後ろにあるのが、昨年の大会で披露させていた作品です。紙面の構成はシンプルですが、文字は5〜6000字書いています。これまで自分たちが積み上げてきたものを言葉にして、それを出し惜しみなく

全て書きました。その言葉を一つ筆一本で訴えようと、身体表現は極限まで削ぎ落とし、音源も使わず自分たちの声だけで勝負しました。0か100かの大きな挑戦でしたが、生徒たちが堂々と最後までやりきったこと、それを評価していただけたことが、とてもうれしかったです。

**青柳** 度肝を抜かれました。まさに型破り。審査員席がざわつきました。足すのではなく引いていくという新しいイノベーション。だけど熱量がとてつもない。今でも作品から息遣いが聞こえてきそうです。どうやって生まれたのですか？

**山根** 着想は、初めて本戦に出場した第9回大会です。部員が3人しかいなくて、出来ることも限られていました。なぜかその時、3人が歌いながら字を書いている場面が浮かんだんです。それを7年間温めていました。物に頼らず、体一つで伝えることが一番強いのではないかと。

**服部** 「人間力」とか、大げさに言うと「生きる力」に訴える演技でした。それでいて、部員たちがあの時間を本当に楽しんでいました。鳥取城北高校書道部の集大成が、昨年のあの日の時間に生まれ、多くの人の心を鷲掴みにした。きっと同じことはもう出来ないでしょう。

**山根** 大会後、校長先生から全

### やまねあきふみ

書道家、鳥取城北高等学校教諭  
鳥取県鳥取市出身  
2009年に鳥取城北高校に赴任し、翌年書道部を設立。2013年から同部を率いて書道パフォーマンス甲子園にエントリー。第14回大会で紫舟賞、第15回大会で準優勝に輝く。前大会では中島みゆきさんの「ファイト!」をアカペラで歌いながらの演技に挑戦し、悲願の初優勝を成し遂げる。  
四国中央市のココが好き▷「延寿園」のミンチラーメン



校生徒の前で披露してほしいと頼まれましたが、部員たちが断りました。「もう何も残っていない」と。

**服部** だからナンバーワンなんです。あの年のあの時間に、あの場しか出来ないことをした。作品を見ただけでも熱気が伝わってきます。抱きしめたいなる素晴らしい作品。山根先生はいい指導しているなと思います。もう一回、高校生を教えたい!(笑)。

**書道パフォーマンス甲子園とは**

**山根** 高校の3年間の中で、勝りたいと思える舞台がある、なりたい日本一がある。そういうものに出会えるということは、とても尊いことです。日本一になるために高校生たちが過している時間のうち、見えているのはほんの少しですが、この生徒にも人知れない一分一秒があつて、人知れない努力があります。それを思うと大会の存在の大きさを感じます。

**青柳** たくさんの人が見ている中で、あんな立派なステージで書かせていただける。表現者として大変ありがたいです。それを学生ボランティアが、地域が、紙のまち全体で作りに上げています。全国的に見ても貴重な大会です。そして、私が書道パフォーマンスを始めるときつかけとなつた、かけがえのない存在です。  
**服部** 書道パフォーマンスが映画になった時、ある雑誌にこう書かれていました。「21世紀に展開する新しい文化になり得る」と。実際に今では完全に新しい文化として定着し、「戦後愛媛のイノベーション30選」に、あのボンジュースと一緒に選ばれています。更に来年には、万博で特別大会が開催されることになりました。これは運営側が常に成長を続け、大会を変貌させてきたからです。私はそれが一番うれしい。

**万博進出！  
書道パフォーマンス甲子園と  
四国中央市のこれから**

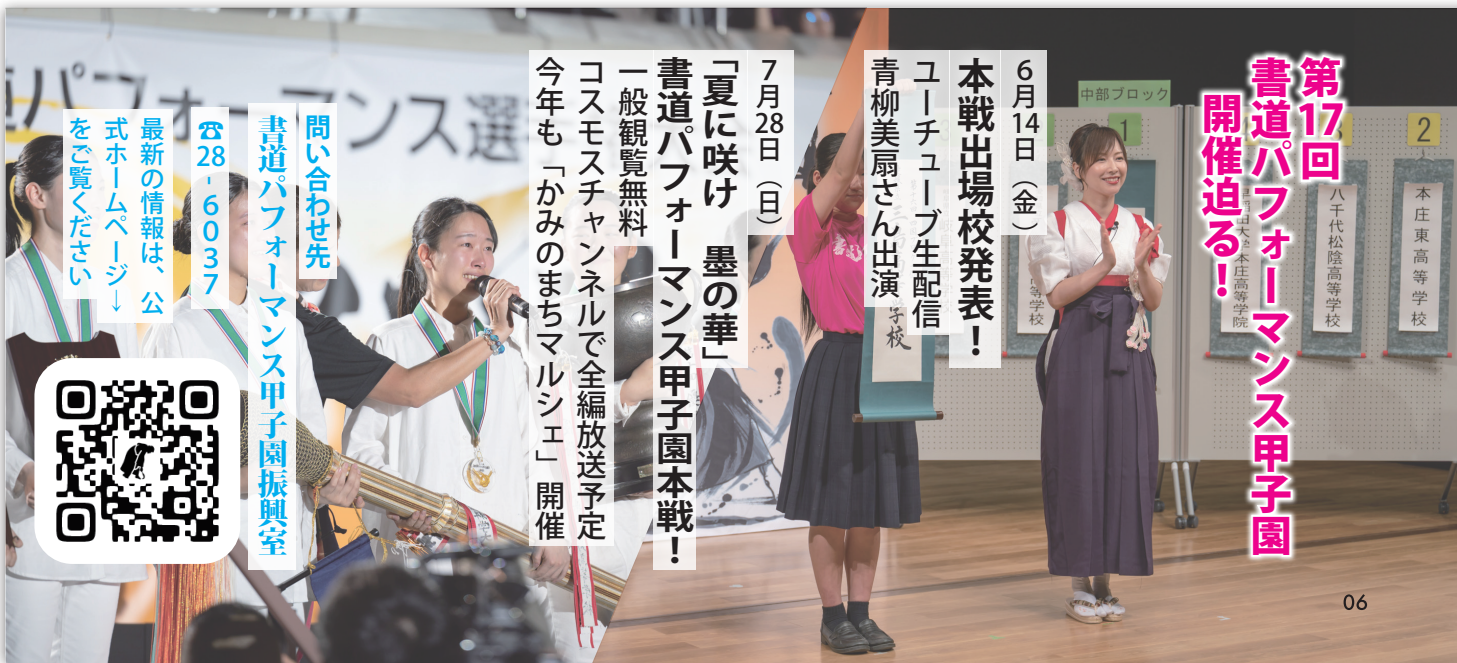
**青柳** 万博は、世界に認知していただける凄く良いチャンスです。私も海外で書道パフォーマンスをさせていたでいていますが、書道パフォーマンスという文化がアニメや漫画、伝統芸能の歌舞伎や能などと並ぶコンテンツになる未来があると思っています。書道パフォーマンスを目当てに海外から人が来たり、海外で書道パフォーマンスが広がったりすることで、四国中央市の名も世界に広がっていくのではないのでしょうか。

**山根** 書の国際化については、どこも大変な思いをしていると思います。確かに、高校生が一生懸命命を込めて取り組んでいる姿には、人を動かす力があります。ですが、世界の人がそれをどうキャッチしたのかを検証することが大事です。アジア、アメリカ、ヨーロッパ、それぞれが全く違う物の見方をしている中で、どこに焦点を絞っていくのか。どうPRしていくのか。ただパフォーマンスを披露して終わりではなく、そういった仕掛けがあれば、もっと面白くなると思います。  
**服部** 小学3年生から毛筆を扱う授業が始まるのですが、令和6年度から全国で使われる教科書に、書道パフォーマンスをす



る高校生が掲載されます。義務教育の中で等しく知識を得られることの意義は、とても大きい。教育には「教える」だけでなく「育む」面があります。小・中学校の総合的な探求の時間で、基幹産業との関係について学ぶことが、シビックプライドにつながるはずですが、四国中央市には、教科書に載るほどのコンテンツを大事にしていたら、これからも変わることに對して、臆病じゃないまちであつて欲しいと思います。

服部先生、美扇さん、山根先生  
 ありがとうございました！  
 この模様は、コスモスチャンネル→  
 で放映されます。ぜひご覧ください。



**第17回  
書道パフォーマンス甲子園  
開催迫る！**  
日本書道本庄高等学校  
八千代松陰高等学校  
本庄東高等学校

**6月14日(金)  
本戦出場校発表！**

**ユーチューブ生配信  
青柳美扇さん出演**  
子校

**7月28日(日)**

**「夏に咲け 墨の華」  
書道パフォーマンス甲子園本戦！**  
 一般観覧無料  
 コスモスチャンネルで全編放送予定  
 今年も「かみのまちマルシエ」開催

**問い合わせ先  
書道パフォーマンス甲子園振興室**

**☎28-6037**

**最新の情報は、公  
式ホームページ  
をご覧ください**

